

教科書で学び方、個別教材で活用 「伝記を読み生き方を考える」から

栃木県佐野市立三好小学校 渋谷 隆夫

一 学び方から活用へ

児童自身が、自分の読みを振り返り互いに交流することで、身に付けた読みの力を生かせる活用場を用意し、自らの力で読みを深められるようにしたい。新学習指導要領の解説にも「複数の本や文章などについて、様々な読み方を身に付ける…」とある。さらに、「読むこと」の指導事項に「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」という項目がある。発表者がいて、聞き手がいて、というのではなく、聞き手は、次の発表者となる。聞いた内容と自分の考えを比較して気になる部分を質問する。同じ意見だったら、同意を示す…。そういった活動があつて、お互いの考えを深められるのではないだろうか。

二 5年「伝記を読み生き方を考える」の指導

(一) 単元の目標

・人物の生き方に興味を持ち、様々な伝記を読み比べようとしている。

(国語に対する関心・意欲・態度)

・人物の生き方に対しての思いを自分の言葉にして語ったり、聞きながら感じた思いを語り手に伝えたりする。(話すこと・聞くこと)
・伝記を読み、読み取ったことや考えたことをまとめて紹介する。(書くこと)

・伝記に書かれた人物の生き方と考え方を読み取り交流する。(読むこと)

(二) 単元について

ここでは、伝記の読み方を学習し、身に付けたことを別の人物の伝記で実際に活用する。読み取ったことをお互いに語り合うことで、不十分な読みに気付いたり、別の人物の生き方に触れたりできる。伝記から読み取っ

た人物の生き方に対して自分の考えを明確にすることを通して、自分の生き方を考えることにもつながっていくと期待できる。

この単元は、新学習指導要領、第5学年及び第6学年「読むこと」の言語活動例「ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること」「話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりする言語活動」をうけて設定している。

(三) 授業の実際

第一次 自分の今までの生活について振り返る、教材文の全体像把握。(対話による交流) マザー・テレサの生き方について、教材文のどこからどう感じとったか、テレサの言動と自分の思いを短い言葉で表現する。

第四次 マザー・テレサのまとめを語り合う。(自分の思い、テレサの言動、キャッチコピーなど)

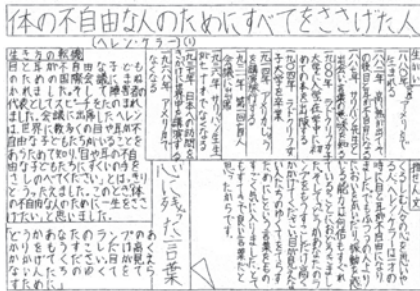
a 『『貧しい人々を愛し続けた人』というキャッチコピーをつけてみました。』

b「ぼくは、筆者がテレサをどう思っていたかという内容にしました。『勇氣とがんばりで世界を変えた、マザー・テレサ』と書いてみました。」

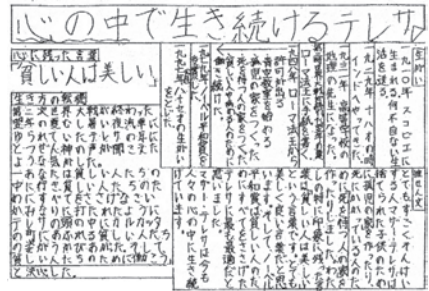
c「わたしは、『貧しい人たちのために全てをささげ、勇氣のある人、尊敬する』と書きました。aさんbさんの二人の書いたことを合わせたようになった気がします。」

第六次 自力読みのプリントをもとに自分が

選んだ伝記についてまとめる個人学習。



〈自力読みでまとめた例〉



〈推薦ポスターの例〉

伝記を自分の力で読もう

マザー・テレサをまとめたことを思い出し、同じように学習を自分の力で進めてみよう。

読みながら大切なところ、後でまとめるに書きたいところがあったら、すぐにノートに書くか、付せん紙を貼るなど、分かるようにしておく。

1 全文を読む。

2 生涯をまとめる。

3 一冊の本は長いので、生き方に関係する主なものを十前後書いておく。

4 心に残る言葉を書く。

5 すいせん文を書く。

6 人物のすばらしさを表す短い言葉、キャッチコピーを書く。

7 テレサと比べて、似ているところや違いの大きいところを書く。

8 *どちらか片方になる場合もある。
伝記を読む学習のまとめを書く。
・テレサと、自分で読んだ伝記とをまとめて書く。

・自分の生き方と比べて考えたこと
・自分の生き方に影響を与える内容
・これからの自分の生き方など。

い… ノートにそれぞれの内容を書いてから、一枚の紙にまとめる。

ろ… 最初から一枚の紙に書いていく。

は… 紙に書いて、切り取り、一枚の紙に場所を考えて貼り付ける。

第七次 まとめの語り合い

d「ナイチンゲールもテレサも人のために働き続けた人…これからは自分ができること、手伝いなどしていかうと…」

e「dさんは、テレサとナイチンゲールの似ているところを言った。自分が読んだエジソンは、周りの人まで笑顔になってほしいと思って…。これからは恥ずかしがらず、何でも挑戦しよう。」

三 まとめ

・語るため、まとめるために、正しく読み取ることの必要性に児童が気付き、身に付けた学び方で何度も文章を読み返すようになってきた。

・読み取ったことを一枚にまとめることをやりやすいと感じた児童も多く、自主的に学習を進め活用する力をつけていた。

・よりよい語り合いのために、学習内容に思い入れができるような単元設定を考えていきたい。

しづえ たかお 国語力をどうつけるか、子どもたち
に反応・挑戦・笑顔の大切さを語り続け、実践する日々。